

はじめに、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、来賓の皆様のご招待や在校生の参加がかなわず、内容や時間の短縮を余儀なくされたことを申し訳なく思います。また、式中すべてマスク着用としており、聞き苦しい点もあるかと思いますが、ご容赦ください。

式 辞

やわらかな日差しに、待ちわびた春の息吹が感じられる、この佳き日に、令和元年度の卒業式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を手渡した時の皆さんの顔は喜びにあふれ、希望に輝いていました。

また、立派になった皆さんの凜とした姿に、未来を切り開いていこうとする強い決意を感じました。

明るく素直で、元気いっぱいの皆さんは、学校のためによく働く六年生でした。仕事を頼まれても嫌な顔一つせず、むしろ学校の役に立っていることに喜びを感じているよう

した。

また、皆さんは、とても優しい六年生でした。業間や昼休みなど、下級生と仲良く遊んでいる姿をよく見かけました。私はその姿を、いつもほほえましく感じていました。

私自身は、卒業生の皆さんとは、一年間だけ共に学校生活を送りました。皆さんの取組は、とても印象的でした。なかでも、運動会の「応援合戦」、「よさこい」、「ソーラン」は、何度も何度も練習を重ね、当日は見事な演技を披露しました。

修学旅行での行動も、印象的です。生活や見学の態度がとても立派で、感心させられました。

しかし、何と言っても、私は卒業生の皆さんの授業態度が一番印象に残っています。

いつ授業見学にいつても、真剣そのもので、集中して授業に取り組んでいました。補教のときの自習態度も素晴らしく、これなら「立派な中学生になれる」と確信しました。

これらの取組には、一人一人の頑張りや集団としての絆があり、最高学年としての自覚と誇りが感じられました。

このように大きく成長し、卒業を迎えられた皆さんに、私から大切にしたいことがあります。それは、「感謝の気持ちをもつ」ということです。

このように大きく成長できたのは、皆さん一人一人の努力の成果です。しかし、一人の力だけではありません。

幼い頃から皆さんの健やかな成長を願い、病気の時には人一倍心配し、一生懸命育ててくださった保護者やご家族の皆様がいたからです。

また、皆さんが、安全に安心して登下校できるように、毎日やさしく見守っていたいただいた地域の方々がいらっしゃったからです。

そして、いつも皆さんのことを一番に考え、深い愛情をもって指導に当たった担任の中野先生・秋山先生をはじめ先生方、楽しい時や

嬉しい時ばかりではなく、悲しい時やつらい時も、強い絆で結ばれていた仲間がいたからです。これまでお世話になってきた大勢の方々に、これからも感謝の気持ちを持ち続けてください。

よく「卒業は、新しい人生の出発点である」と言われます。卒業生の皆さんは、今日、小学校を卒業し、中学校に進まれますが、小学校で学んだことを大切に、大きな夢をもち、その夢に向かって大きく羽ばたいてください。皆さんの健闘を祈ります。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございました。お子様が立派に成長された姿に、感慨もひとしおかと存じます。これまで、六年間の長きにわたり、物部小学校をあたたく見守り、しっかりと支えていただき、誠にありがとうございました。皆様のご理解とご協力に、学校を代表して、心より感謝申し上げます。校長式辞といたします。

令和二年三月十九日

真岡市立物部小学校長 谷畑 隆